

日本共産党のえんど久子市議が主張

# 市長退職金は大幅引き下げを

3月16日の一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は市長など特別職の退職金を大幅に引き下げるよう求めました。市長は何期市長をして、も4年ごと4年ごとに退職金を受け取ります。

## 類似団体で全国トップの額を

別府市の市長の退職金は4年間の場合で、約2620万円。副市長は約1500万円、教育長は約595万円。「市民が払う国保税も、市長が税金から受け取る退職金も、全国トップクラスの高さ。それでは困る」と、えんど久子市議は一貫して大幅引き下げを求めてきました。

## 4年ごと4年ごとに

かつては、4年間で3260万円でした。えんど市議は「別府の市民所得は低いのに、市長退職金は他市に比べ断トツに高い」と指摘し続けました。

浜田市長は、1期4年間で3096万円の退職金を受け取っています。3年前、浜田市長の任期が切れる時は、退職金の引き下げと主張しました。

この時、日本共産党は「引き下げた額で受け取るべき」「2620万円でも高すぎる」と主張しました。

## 市民の目線というなら

この議会でも、「退職金など全くない方や最低賃金時給631円の方も多い。『市民の目線』というなら自ら大幅引き下げすべき。宇佐市や日田市でも市長の任期中半額カットしている。ゼロにする市もある」と、市長答弁を求めました。

この議会でも、「退職金など全くない方や最低賃金時給631円の方も多い。『市民の目線』というなら自ら大幅引き下げすべき。宇佐市や日田市でも市長の任期中半額カットしている。ゼロにする市もある」と、市長答弁を求めました。

等報酬審議会審議事項については十分検討してきた」と部長答弁をくり返すだけでした。

世論を高め1年後の選挙までに、せめて半額カットなど、大幅引き下げをさせましょう。

行革・行革と、様々なしわ寄せがある中、市長の姿勢が問われます。



浜田市長に新年度予算要求の申し入れをする  
日本共産党議員団  
別府市役所市長室にて 09. 11. 30.



福寿草

日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

**No.421**  
2010. 3. 24.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630  
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

日本共産党 議会で一貫して求め続ける

# 高すぎる国保税の引き下げを



花ニラ

毎回の議会で  
引き下げ求め

日本共産党議員団は毎回の議会で高すぎる国保税の引き下げを求めました。3月市議会ではえんど久子市議が議案質疑と一般質問の両方でこの問題を取り上げました。

新年度予算は、一般会計から国保会計への繰り入れを08年度予算と比べ5400万円増やした予算となっています。これは日本共産党議員団がくり返し求めてきたことです。繰り入れを増やし国保税の引き下げを一貫してと求めてきたのです。

引き下げは難しい

しかし、えんど市議の質問に課長は引き下げは難しいと答弁。1年前に国保税を若干引き下げたことや、市民の所得が減っていることなどから、今年度の国保税の調定額は昨年度に比べ2億3000万減ったので、税収の確保や赤字解消が厳しい、との答弁です。

市民生活は深刻

えんど市議は、「時給631円の最低賃金で働き20年も無保険の方や、短期証で病院に行ったもの。一時は危篤状態になった方もいる」など、市民の深刻な生活実態を紹介しながら、「市は市民にとって最後の砦。どうしても国保税の引き下げが必要だ」と迫りました。

部長は「繰り入れは保険税の安易な引き下げにあてられることを想定していない」という国の通知にふれて答弁しました。えんど市議は、「『安易』な引き下げではない。別府市民の状況は深刻だ」と反論しました。

国会で財源確保に  
努力と答弁



スノーポール

3月4日、参議院で日本共産党の小池晃さんは、国保税が高い最大の原因は、国庫負担が約50%（1984年）から25%（2007年）へと引き下げられたことだと指摘し、「命を守るといふなら、国庫負担の引き上げを」と求めました。これに対し鳩山由紀夫首相は「財源の確保に努力していきたい」と答弁しています。

今後とも、日本共産党は、みなさんと力をあわせ、国保税の引き下げや減免の充実にがんばります。